

インフルエンザ週報 2025年 第49週 (12月1日～12月7日)

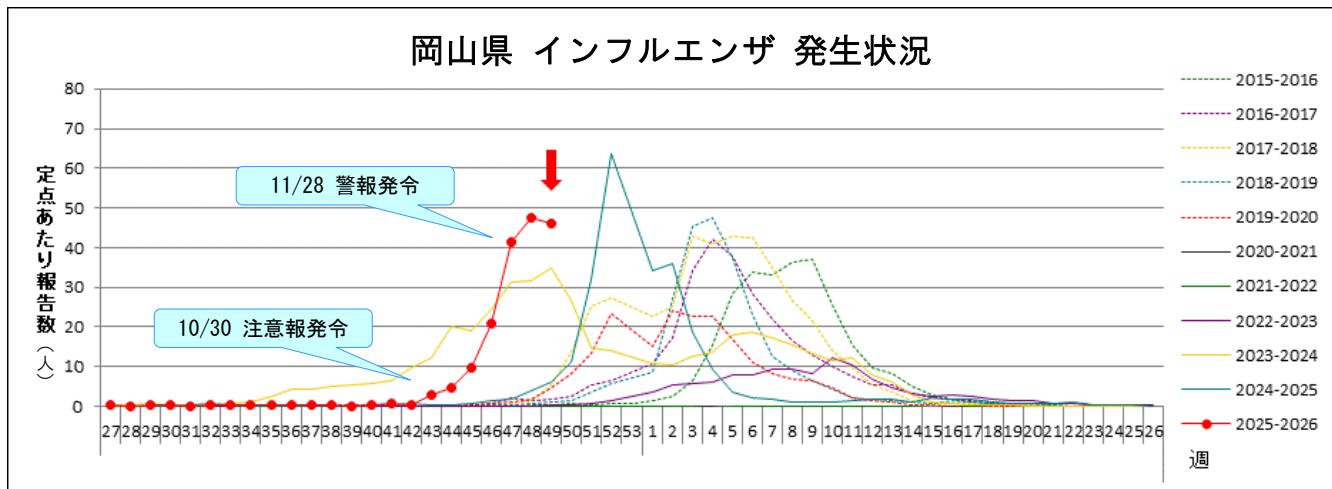
岡山県は『インフルエンザ警報』を発令中です

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で2,296名（定点あたり45.92人）の報告がありました（50定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が161施設ありました。
- インフルエンザによる入院患者30名の報告がありました。

【第50週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が122施設ありました（12月8日～10日）。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

※2025年第15週以降定点がインフルエンザ/COVID-19定点（84医療機関）からARI定点（50医療機関）になりました。

インフルエンザは、県全体で2,296名の報告があり、前週とほぼ同数でした（定点あたり47.48→45.92人）。

岡山県は11月28日に『インフルエンザ警報』を発令し、広く注意を呼びかけています。

地域別では、倉敷市（63.33人）、備中地域（57.00人）、岡山市（50.44人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

県内の発生状況に注意するとともに、基本的な感染防止策（換気や手洗い・手指消毒、場面に応じてのマスクの着用を含めた咳エチケットなど）に留意し、感染対策に努めましょう。また、予防接種を予定されている方は、早めに済ませましょう。

◆インフルエンザが流行中です。感染に注意しましょう◆

【感染防止策の徹底】

- ・場面に応じたマスクの着用、手洗い、手指消毒の実施
- ・室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入れ替え
- ・高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
- ・十分な休養、バランスのとれた食事

【予防接種を検討中の方は早めの接種を】

特に高齢者や基礎疾患がある方など重症化リスクが高い方は、インフルエンザワクチンの接種を検討しましょう

（ワクチン接種により、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります）

【発熱等の症状が出た時は】

- ・早めに医療機関を受診する
 - ・周りの方へうつさないように「咳エチケット」を！
 - ・水分を十分にとり、安静にして休養をとる
- ⇒ 詳細は岡山県ホームページ『[インフルエンザ対策について](#)』をご覧ください。

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況(人)		推移	地域名	発生状況(人)		推移
岡山県全体	患者数	2,296	↑	備 中	患者数	285	↑
	定点あたり	45.92			定点あたり	57.00	
岡山市	患者数	908	↑	備 北	患者数	85	↑
	定点あたり	50.44			定点あたり	21.25	
倉敷市	患者数	760	↑	真 庭	患者数	79	↑
	定点あたり	63.33			定点あたり	39.50	
備 前	患者数	129	↑	美 作	患者数	50	↑
	定点あたり	32.25			定点あたり	10.00	

【記号の説明】前週からの推移

↑ : 大幅な増加

↗ : 増加

↔ : ほぼ増減なし

↘ : 減少

↓ : 大幅な減少

大幅 : 前週比 100%以上の増減

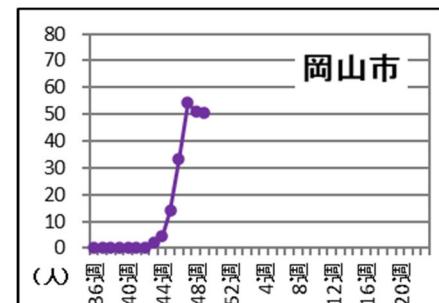
増加・減少 : 前週比 10~100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ

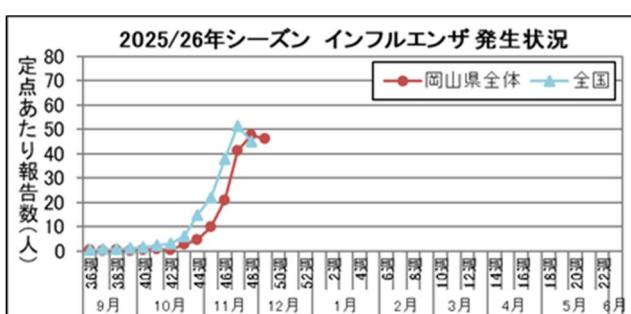
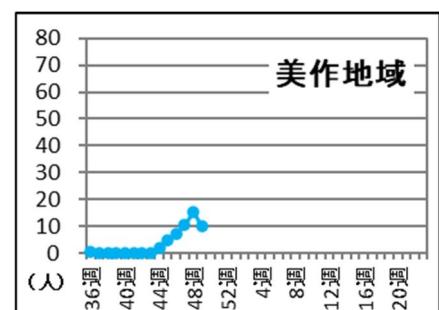
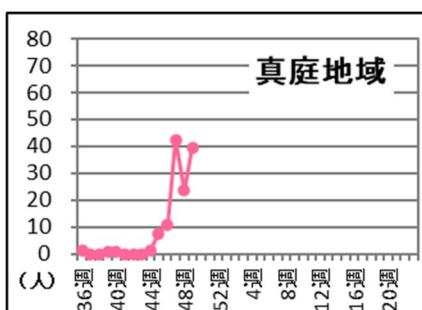
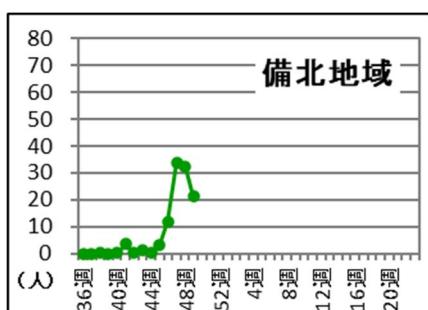
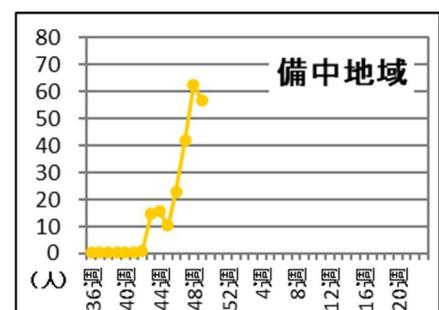
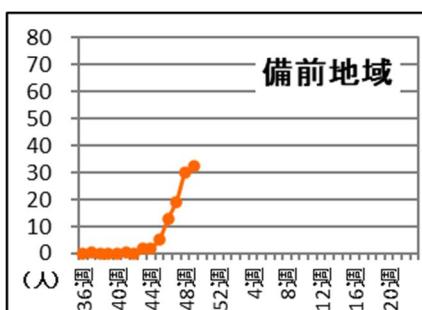
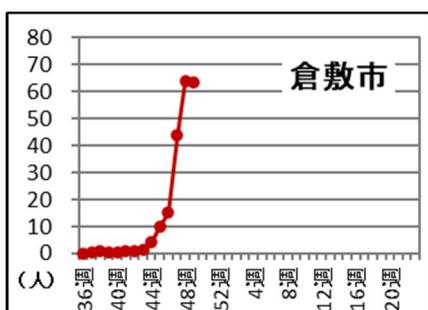


<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満
レベル1		報告なし
基準値	基準値	
0< 10未満	0	



※数字は定点あたり報告数

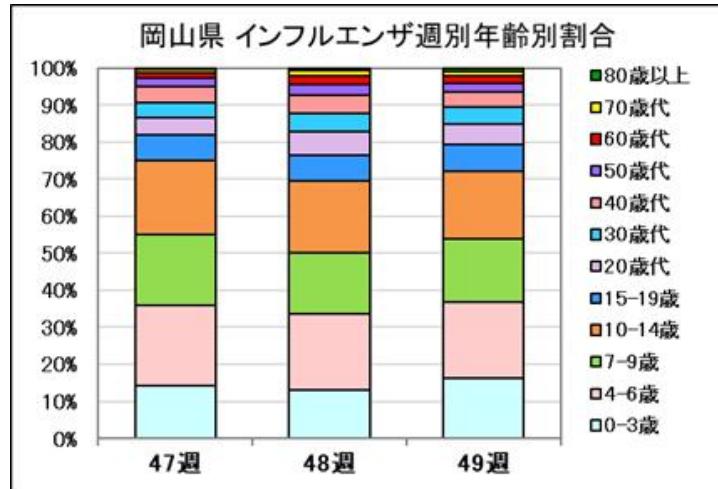
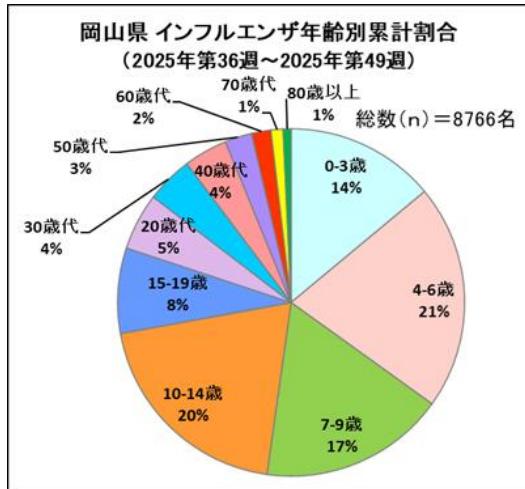


全国集計 2025年第48週(11/24~11/30)速報値によると、全国の定点あたり報告数は44.99人となりました。

都道府県別では、埼玉県(74.81人)、長野県(72.49人)、福島県(64.81人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。28都道府県で前週の報告数から減少しました。

[インフルエンザの発生状況について\(厚生労働省\)](#)

2. 年齢別発生状況

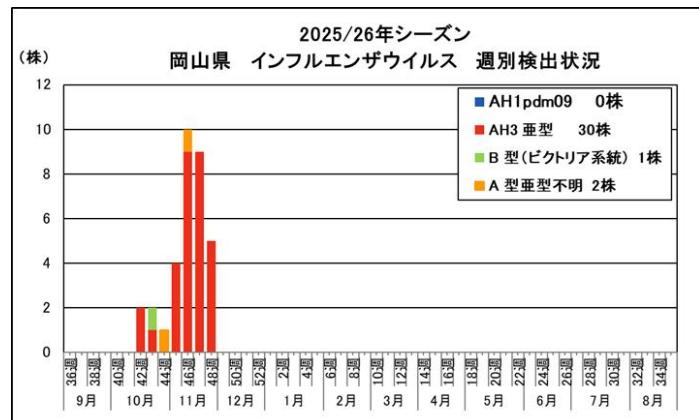
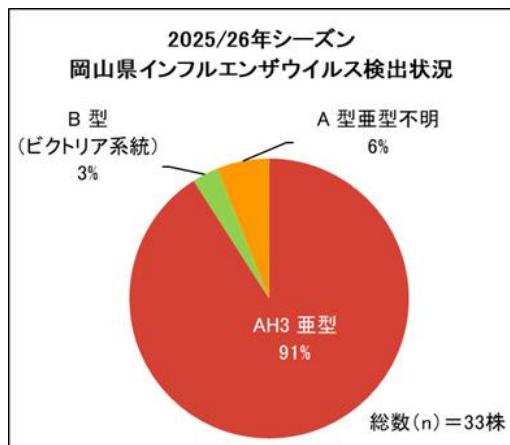


※定点医療機関は、小児科定点（28 医療機関）が内科定点（22 医療機関）に比べて多いため、報告数は小児に偏ります。

3. インフルエンザウイルス検出状況

【岡山県】

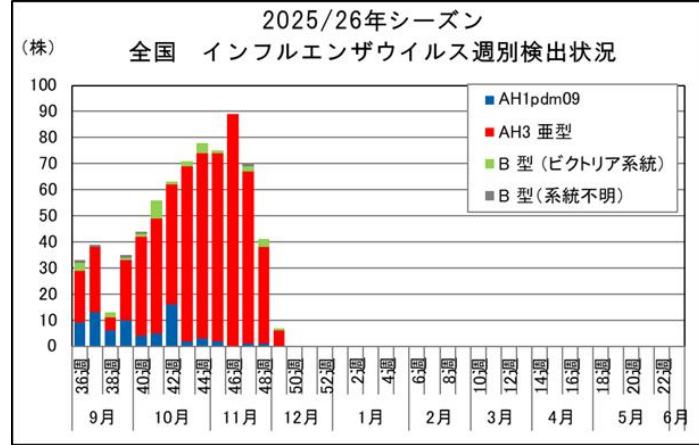
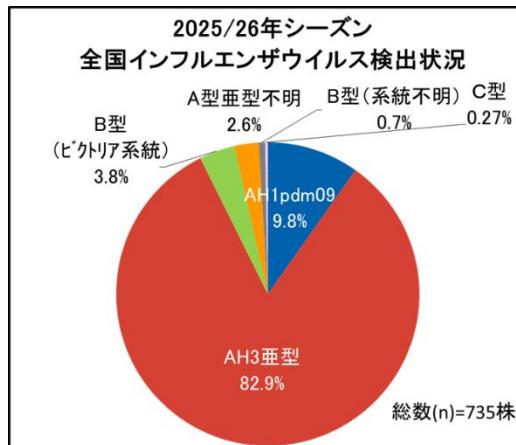
今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 33 株で、AH3 亜型が 30 株、B 型（ビクトリア系統）が 1 株、A 型亜型不明が 2 株となっています。



【全国】

今シーズン、これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 が 72 株、AH3 亜型が 609 株、B 型（ビクトリア系統）が 28 株、A 型亜型不明が 19 株、B 型（系統不明）が 5 株、C 型が 2 株となっています（12 月 8 日現在）。

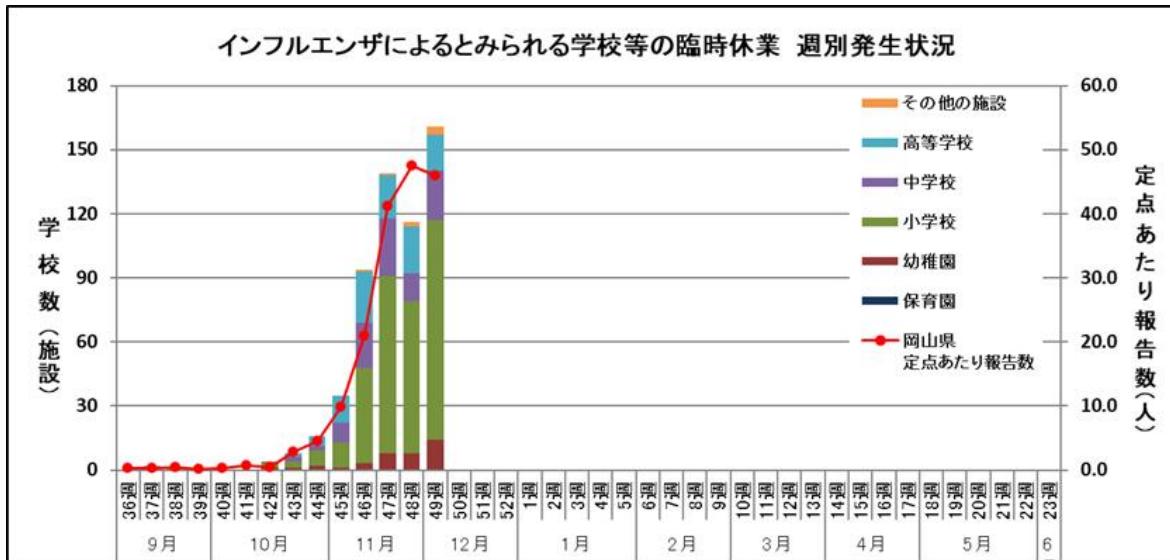
[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立健康危機管理研究機構）](#)



※集計が異なるため一部の型が報告されていません。

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、161 施設ありました。



臨時休業施設数の内訳

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
第 49 週	0	14	103	23	17	4	161
累計	0	28	328	97	105	8	576

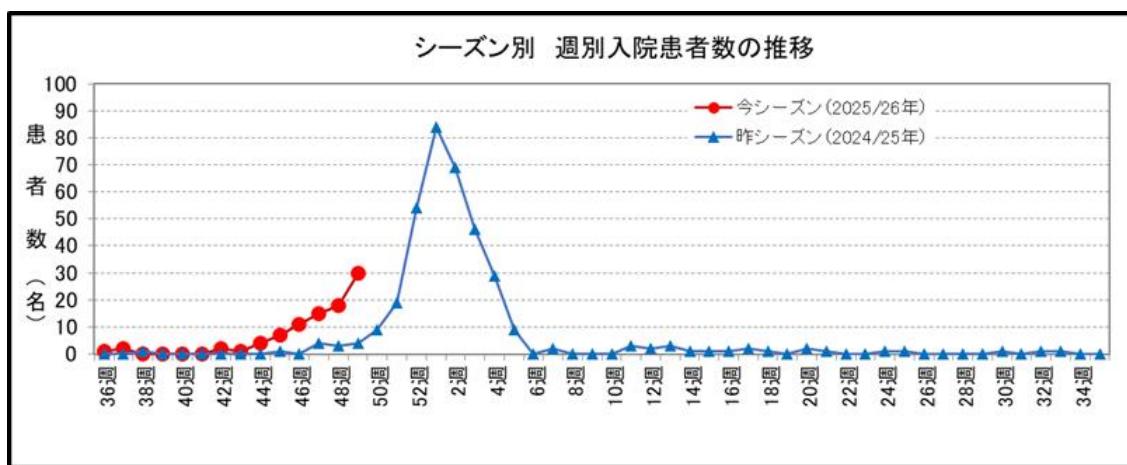
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→ [\(R7年度シーズン\) 岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、30 名の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患有もつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化するがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 49 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	4	4	3	2			1		2	2	4	8	30
ICU 入室 *			1								2	2	5
人工呼吸器の利用 *			1										1
頭部 CT 検査(予定含) *		1								1	1		3
頭部 MRI 検査(予定含) *		2										1	3
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず	4	1	2	2			1		2	1	2	5	20

* 重複あり

【2025 年 9 月 1 日（第 36 週）以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	8	16	11	7	2		1	1	5	9	15	16	91
ICU 入室 *		1	1								6	2	10
人工呼吸器の利用 *			1										1
頭部 CT 検査(予定含) *		1								1	2	2	6
頭部 MRI 検査(予定含) *		3	3	1								2	9
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず	8	11	7	6	2		1	1	5	8	9	11	69

* 重複あり

[令和7年度 急性呼吸器感染症（ARI）総合対策に関するQ&A（厚生労働省）](#)

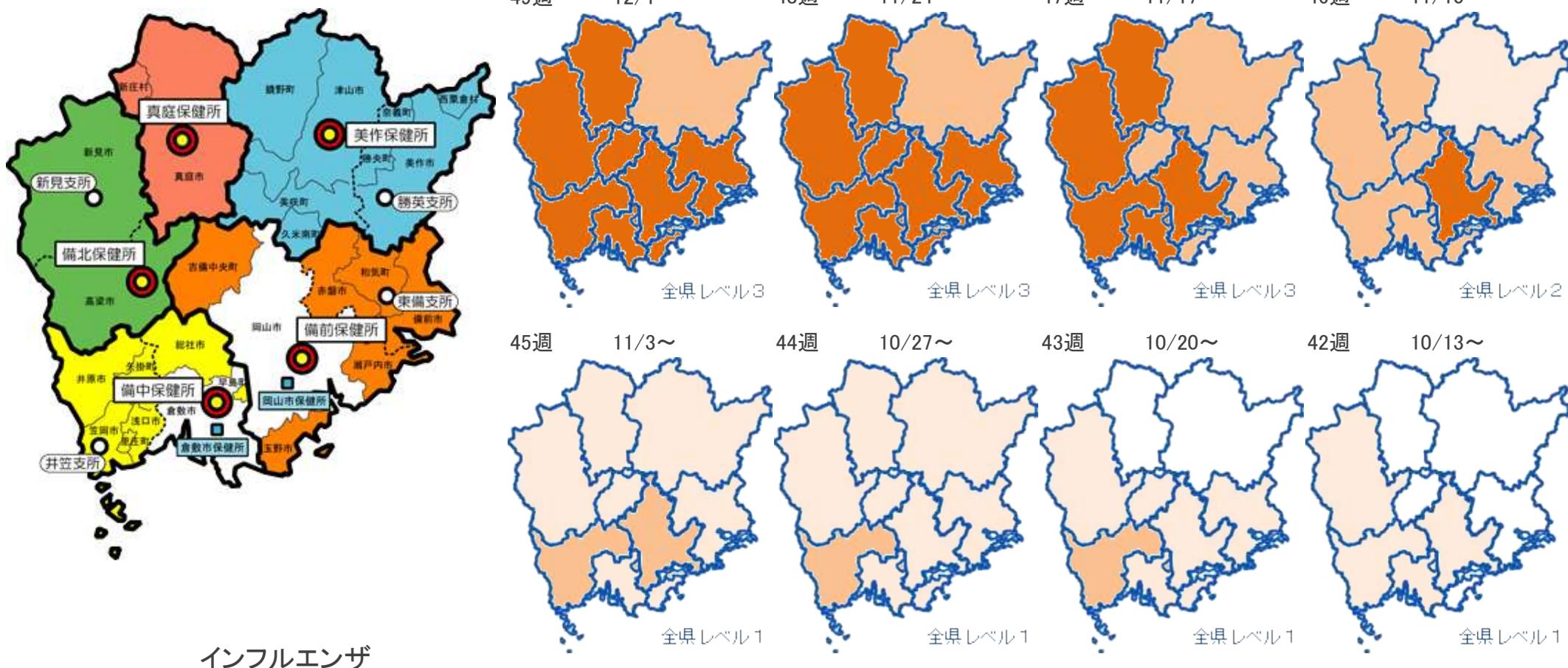
[令和7年度 今冬の急性呼吸器感染症（ARI）総合対策（厚生労働省）](#)



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2025年 49週

2025年12月10日

11:25:45



インフルエンザ

レベル3	レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がるまでレベル3が継続されます。